

第5回あさご未来会議

● 第5回のテーマ

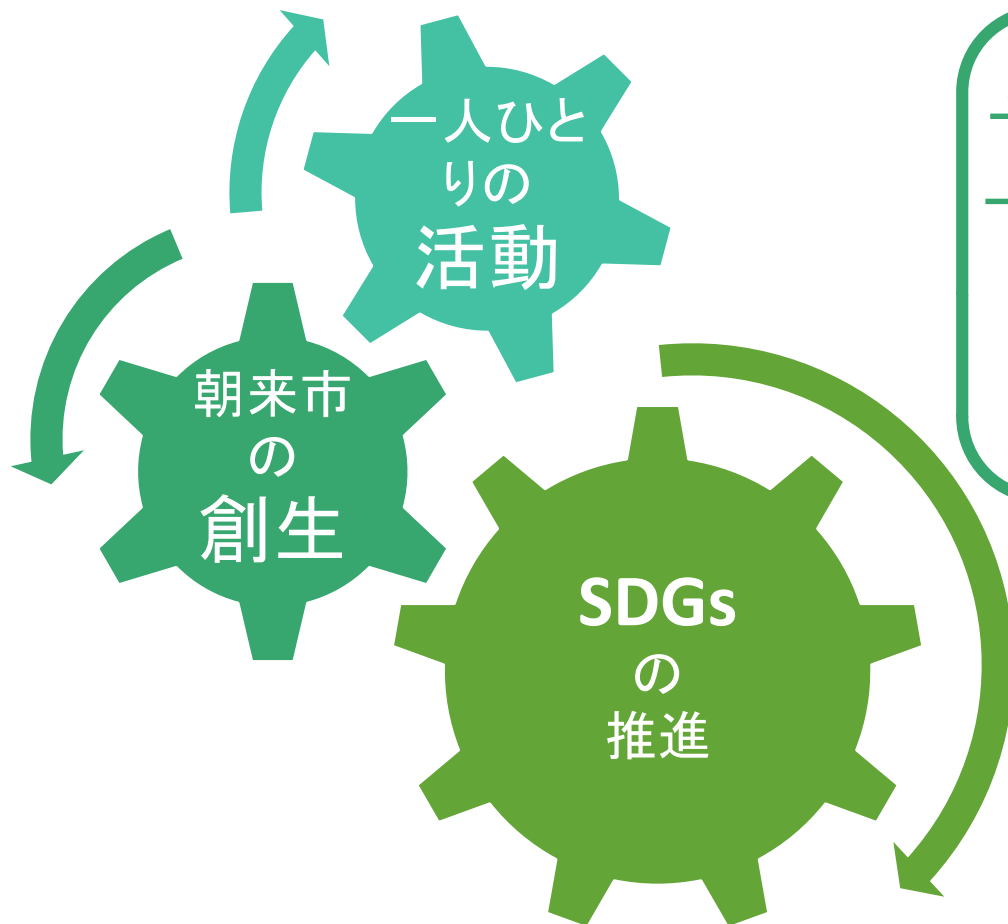
We are ASAGOiNG !

私の一歩について語る
～ 朝来市のまちづくりを
SDGsの推進につなげて考える ～

SDGs とは…

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年を年限とする国際目標です。企業・行政・NPO・地域社会など関係するすべての主体が役割を担って取り組まなければならないとされています。

第5回あさご未来会議 ゴールイメージ



私たち市民一人ひとりの一歩、
まちでのアクションが、
朝来市の創生につながり、
さらに、SDGsの推進に
つながっているんだ！



第5回あさご未来会議 対話の概要

■Step1

朝来市創生に向けた活動等のアイデア

(行政の取組み、地域自治協議会など地域での取組み)などを
SDGsの推進とつなげて考えてみよう！

- 年齢層(ライフステージ)での関わり方で考える。(時間軸)
- お住まいの地域エリアでの地域活動で考える。(地域軸)

■Step2

朝来市創生に向けて、参加者一人ひとりが、
「私の一歩」(自分自身のアクション)について語ろう！

第5回あさご未来会議の流れ

Step1-1 時間軸対話

- 対話① お越しになられた順(目標1~17)に割振り
- 対話②③ 好きな目標を選択

Step1-2 地域軸対話

- 居住地域ごとに対話(地域自治協議会単位)
- 市外の方は、関係する地域や応援したい地域を選択 又は 市外からの視点に対話

Step2 私の一步を語る

- 一人一人が自分自身のアクションについて考える
(ASAGOiNG宣言)

国版第2期創生総合戦略の 新たな視点

- ① 民間との協働（NPO、地域づくり団体、企業との連携）
- ② 人材を育て活かす（人材の掘り起し、人材育成、活躍の場）
- ③ 新たな時代の流れを力にする（Society5.0実現、SDGsを原動力）
- ④ 地方へのひと・資金の流れを強化する（関係人口創出・拡大）
- ⑤ 誰もが活躍できる地域社会をつくる
（女性、高齢者、障害者、外国人等が共生するまちづくり）
- ⑥ 地域経営の視点で取り組む（既存施設の集約化・活用）

◆ **関係人口** 地域外の人材が地域づくりの担い手になることを期待。

◆ **Society5.0** 科学技術を活用して経済発展と社会課題解決の両立を目指す。

SDGs (持続可能な開発目標) 2030年を年限とする国際目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



企業・行政・NPO・地域社会など関係するすべての主体が役割を担って、「経済」「社会」「環境」の課題に統合的に取り組む。

統合的に取り組むとは！？

今までは・・・

一つの課題に対して、課題解決に向けた事業を考え展開する。
(縦割りの発想)

- A課題 — a事業
- B課題 — b事業
- C課題 — c事業
- ⋮

これからは・・・

課題は重なり合っているため、複合的に事業を進めることで、事業効果を高め、効率的に事業を展開する。

- A課題
 - B課題
 - C課題
- d事業

< SDGsの17の目標の説明 >

目標の
アイコン

目 標

目標の説明

※SDGsの目標を自分たちの暮らしに置き換えて理解しやすいように、朝来市や日本での暮らしに
関係する部分を主に記載しています。

1 貧困を
なくそう



貧困をなくそう

あらゆる場所で、あらゆる形態の
貧困に終止符を打つ

- 貧困により教育を受ける余裕がない状況は、次の世代にも貧困が連鎖してしまいます。
- 地震や洪水などの災害が起きると、被災地の多くの人が生活の基盤が奪われてしまいます。それまで経済的にギリギリで生活していた人は、深刻な貧困に陥ってしまうことにもなります。
- 新たな貧困層を生み出さないために、貧困のリスクにさらされやすい人を守る工夫も求められます。

2 飢餓を ゼロに



飢餓をゼロに

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な**農業を推進**する

- 飢餓をなくすためには農家の生産性をあげることが重要になります。
- ただ生産量を増やせばいいわけではありません。生態系を守ったり、持続可能な農業をつくりだしたりすることが求められます。
- 農業を行わないようになれば、その土地は単なる荒れ野になってしまいます。

3 すべての人に
健康と福祉を



すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の
健康的な生活を確保し、福祉を
推進する

- たばこやお酒、薬物乱用、交通事故、環境汚染によって健康を害する人がいます。
- あらゆる年齢のすべての人々の健康を推進することは、持続可能なまちづくりに欠かせません。
- 健康と福祉を得られることは、ひとつの人権です。
- 健康と健全なライフスタイルの構築のための、健康増進活動、啓発活動なども私たちができることです。

4 質の高い教育を みんなに



質の高い教育をみんなに

すべての人々に包摂的かつ公平で
質の高い**教育**を提供し、**生涯学習**の
機会を促進する

- 教育や職業訓練を受けていなかったら、より良い暮らしをしたいと思っても、自分の力で生活を変えるのは困難です。
- 性別や経済力、年齢などに関わらず、すべての人が質の高い教育を受けられるようにしなければなりません。
- 目標を達成するには、女性や障害のある人への差別を解消することなども並行しなければなりません。

5 ジェンダー平等を 実現しよう



ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの平等を達成し、すべての
女性と女児のエンパワメントを図る

※「エンパワメント」…

必要な力を身につけ、発揮できるようにすること

- 女性差別は、雇用や給与、家事分担、財産、社会の意思決定への参加など、多くの場面で未だにあるのが現状です。
- 女性が自分の人生を自分で決め、能力を発揮することができるように、社会の制度や慣行を変えていくことが必要です。
- 「性のあり方」が理由で差別や不利益を受けているのは女性だけではありません。

6 安全な水とトイレ を世界中に



安全な水とトイレを世界中に

すべての人々に**水**と**衛生**への
アクセスを確保する

- 気候変動が進むと、水不足が生じたり悪化することがあるかもしれません。
- 水が手に入りにくいものになれば、安全な水は今より高額になり、貧しい人は水不足に苦しむことにもつながります。
- 山地・森林や湿地、河川などきれいな水をつくりだすための自然環境を守っていくことが必要です。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



エネルギーをみんなに そしてクリーンに

手ごろで信頼でき、持続可能かつ
近代的な**エネルギー**へのアクセスを
確保する

- エネルギーの多くは石油や石炭、天然ガスなどの有限で温室効果ガスを排出する資源を使って生み出しているため、気候変動が深刻化する恐れがあります。
- 作られたエネルギーを効率的に使うこと(省エネ)、再生利用エネルギーの利用を増やすことが必要です。

8 働きがいも
経済成長も



働きがいも 経済成長も

すべての人々のための包摂的かつ
持続可能な**経済成長**、**雇用**および
ディーセント・ワークを推進する

※「ディーセント・ワーク」・・・働きがいのある人間らしい仕事

- 日本では「過労死」が起こるほど、働き過ぎが深刻な問題になっています。
- 女性や若者、障害者、外国人など社会的な立場の弱い人が雇用や賃金、労働環境など多くの面で不利になっていることがあります。
- 人の生活を犠牲にして成り立つ経済成長ではなく、働きがいのある人間らしい仕事をすべての人が得られる社会に変えていく必要があります。

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



産業と技術革新の基盤を つくろう

強靱なインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

- 経済成長のベースとなる新たな産業を起こすためにも、道路や電気、水道はもちろん、インターネットのアクセスなど社会や経済を支えるインフラ整備が必要です。
- 新たな産業や持続可能な産業をつくりだすためには、技術革新(イノベーション)が欠かせません。イノベーションを起こすには、研究開発や長い目で見た利益に目を向けることも重要です。

10 人や国の不平等
をなくそう



人や国の不平等をなくそう

国内および国家間の**不平等**を
是正する

- 年齢、性別、障害の有無、人種、民族、出自、宗教などにもとづく不平等が日本にも世界中にもあります。
- 多様な人たちが活躍できる社会でなければ持続的な成長は望めません。
- 外国人移住者がこうむる不利益は放置されがちです。

11 住み続けられる まちづくりを



住み続けられるまちづくりを

都市や居住地を包摂的、安全、
強靱かつ持続可能にする

- 都市には人口集中による住宅不足、老朽化した建物による危険、大気汚染やゴミ問題、犯罪など都市特有の問題があります。
- 地震や台風などの災害発生時に、被害を防いだり、被害が少なくなるようなまちづくりが必要です。
- 人々が住み続けられるまちをつくるためには、住む人々が計画や管理に参加できるしくみをつくることも欠かせません。

12 つくる責任
つかう責任



つくる責任 つかう責任

持続可能な消費と生産パターンを確保する

- 大量のエネルギーや資源を使って大量の食品や工業製品を生産・消費し、大量に廃棄しています。
- 資源の枯渇やエネルギーの浪費が引き起こす気候変動だけでなく、物をつくるときに使った有害な化学物質の排出による環境汚染も問題です。
- 食品ロスを減らすこと、廃棄物の削減とリサイクルの推進、資源とエネルギーの効率的な利用、それを支える技術やしくみを開発することが必要です。

13 気候変動に 具体的な対策を



気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向かう
ため、緊急対策を取る

- 地球の温暖化によるといわれる異常気象は今、世界中で大きな災害をもたらせています。(干ばつ、洪水、海面上昇など)
- 気候変動への対策は、①化石燃料の使用をやめて温暖化をおさえようとする緩和策 ②異常気象などが引き起こす災害を可能な限り小さく抑え、気候変動に対応しようとする適応策 があります。

14 海の豊かさを
守ろう



海の豊かさを守ろう

海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

- 人間が出す大量のゴミや排水が海を汚染し、海の生き物を苦しめています。海に起きた異変は、めぐりめぐって人間の生活にも悪影響を及ぼします。
- 今のペースで魚を獲り続けていては、いずれは獲れなくなるほど減るだろうと言われています。
- 食習慣や海との共存について考えることも重要です。

15 陸の豊かさも
守ろう



陸の豊かさも守ろう

森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに**生物多様性**損失の阻止を図る

- 人間の暮らしはすべて森林や山地、湿地、河や湖、そして多様な生き物たちに支えられています。しかし、産業の発達にともなって自然が失われつつあります。
- 人間を含めた生物がこの地球で長く暮らしていくためには、自然環境と生物の多様性を守っていくことが必要です。

16 平和と公正を
すべての人に



平和と公正をすべての人に

公正、平和かつ包摂的な社会を推進
する

- この目標がめざしているのは、暴力や虐待のない平和な社会、誰もが法によって守られる社会をつくることです。
- あらゆる人々が、いかなる形態の暴力も受けず、また民族や信条、性的指向に関係なく、安心して生活を送れるようにする必要があります。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

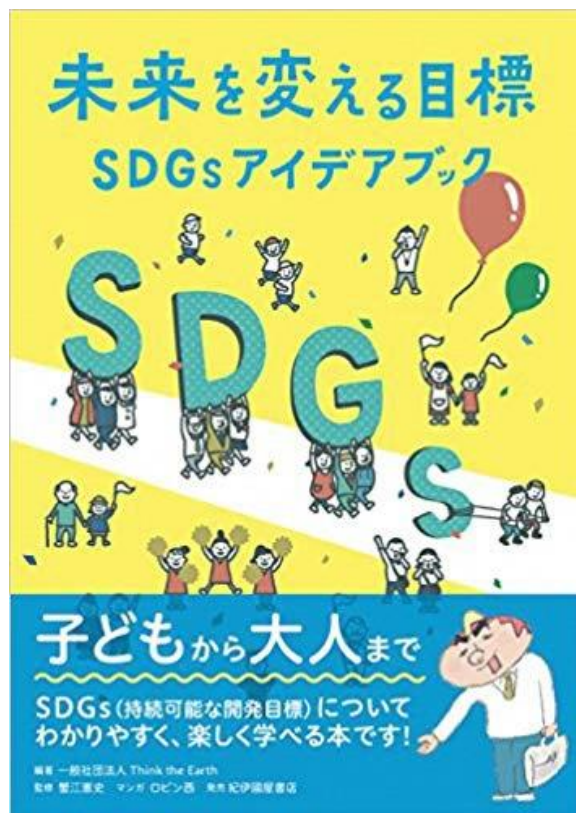


パートナーシップで目標を 達成しよう

持続可能な開発に向けてグローバル・
パートナーシップを活性化する

- SDGsの目標を達成するには、さまざまな立場の人たちが参加し、それぞれの力を出し合う必要があります。
- 共有の目標に向かったのパートナーシップ（連携）は、グローバル（国と国の間）だけでなく、国内、地域などでも必要です。

参考図書



「未来を変える目標SDGs アイデアブック」

編著 一般社団法人 Think the Earth
監修 蟹江憲史
発売 紀伊國屋書店